

内窓用(縦・横 すべり出し窓用)

内窓を作ってみませんか?

PHK512

内窓フレーム 開き戸用金具

組立手順説明書

内窓内寸 高さ：～600mm
巾：～600mm 対応

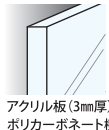
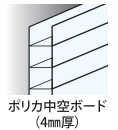
施工前に必ず組立手順説明書をお読みください。
組立手順説明書は捨てずに保管してください。

注意事項 必ずお読みください

- この金具は縦・横すべり出し窓用の内窓フレーム開き戸用金具です。
- この金具だけでは簡易内窓にはなりません。
別売の弊社内窓フレームを使用し、窓面となる別売のプラスチック板を組み合わせることで簡易内窓となります。
- 取付部分の確認として、既存窓の鍵部分の可動域の最も出っ張った部分から窓の額縁の端が15mm以上必要となります。
- 詳しくは組立手順説明書をご覧ください。

必要準備物

内窓面になる プラスチック板 (別売)



※弊社スチロール板3.4mm厚
3.5mm厚をお使いの場合は
0.5mm厚み調整材を、弊社
アクリル板3mm厚をお使い
の場合は1mm厚み調整材
をご使用ください。(別売)

弊社 内窓フレーム部材 (別売)



※作る内窓のサイズに応じた
本数をお買い求めください。

その他の準備物

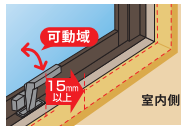


- ①作業用手袋
- ②メジャー(窓の寸法計測などに)
- ③鉛筆(カット、取付位置の目印用)
- ④プラスチックのカットに適したのこぎり(フレーム・レールのカット用)
- ⑤カッターナイフ(ポリカ中空ボードのカット)
アクリルカッターACC-1(アクリル板などのカット)
- ⑥カット用定規(ポリカ中空ボードのカット用)
- ⑦ゴムハンマー(パネルやフレームの取り付け用)
- ⑧ドライバー

カッターやのこぎり、ドライバー等の工具を使用する時は
ケガに十分注意してください。
刃先を身体の方に向けないようにしてください。

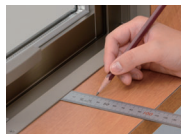
手順1

商品の組み立て前に



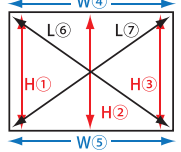
注1 取付部分の確認1

既存窓の鍵部分(クレセント錠等)の可動域の最も出っ張った部分から窓の額縁の端が15mm以上必要です。



注2 取付部分の確認2

有効寸法が15mm以上あれば取付可能です。
窓ガラスやアルミサッシに付いた水分や油分を除去してください。



注3 窓枠寸寸の計測を行う。

■縦寸Hの①②③ ■横寸Wの④⑤

■斜めLの⑥⑦ の寸法を測ります。

↓下の表に計測した数値をメモしましょう。

縦①	mm	②	mm	③	mm	⑧ ①～③の最短	mm
横④	mm	⑤	mm			⑨ ④～⑤の最短	mm
斜⑥	mm	⑦	mm				

→直角精度の確認

※各採寸の寸法値の差が3mm以上の場合は窓額縁部分の修正が必要です。

手順2

1 フレームを切る。



注3 で計測した通りカットします。
プラスチックは温度変化により伸縮します(+20℃で約+1mm[1M当り])
※数mm小さめに切る事を
おすすめします。
ただし小さくすると上下の隙間が大きくなります。

左 縦フレーム=①(mm) - 8mm = (mm)
右 縦フレーム=③(mm) - 8mm = (mm)
上 横フレーム=④(mm) - 58mm = (mm)
下 横フレーム=⑤(mm) - 58mm = (mm)

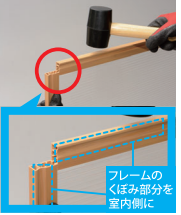
2 パネルの採寸～カット。

縦サイズ=⑧(mm) - 25mm = (mm)
横サイズ=⑨(mm) - 23mm = (mm)

ポリカ中空ボード等はパネルの保護のため、両面にフィルム(もしくは保護紙)が付いていますのでフレームをはめる周囲を幅20mm以上を帯状に切り取ります。全体は最後まで剥がさないように。

3 パネルにフレームを取り付ける。

上下左右の4本のフレーム共、フレームのくぼみがある方を室内側にします。フレームは端からやさしく叩き入れます。この時はあまり力を入れずに。



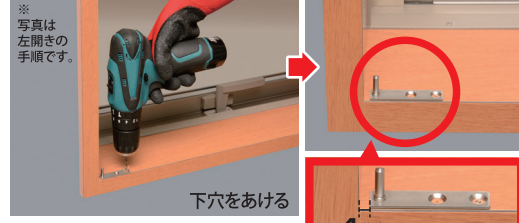
※二人での作業をおすすめします。
※フレーム取付の際は板のたわみに注意してください。
弊社ポリカ中空ボードの場合、板のカット面が開いてうまく入らない時は端を少し潰しながらセロハンテープで止めると入りやすくなります。強く叩きすぎるとフレームが割れることがあります。

※弊社スチロール板3.4mm厚、3.5mm厚をお使いの場合は0.5mm厚み調整材を
弊社アクリル板3mm厚をお使いの場合は1mm厚み調整材をご使用ください。(別売)

手順3

金具を取り付ける。

4 B金具を取り付ける準備。

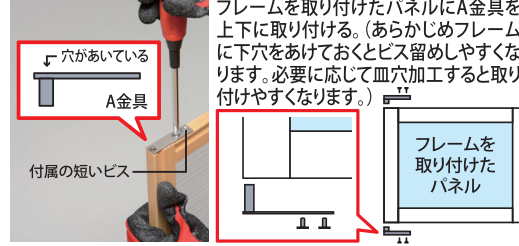


4mmの隙間をあける。
注) 隙間が大きければ、完成時の隙間が大きく、閉まらなくなります。
隙間が小さければ、内窓が開かなくなります。

端から4mmの隙間をあけ、窓枠の上下にB金具を取り付ける準備をする。(あらかじめ下穴をあけ、ビス留めしやすくする。必要に応じて皿穴加工すると取り付けしやすくなります。)

※窓枠が木製の場合は、付属の長いビスを使用してください。

5 A金具を取り付ける。



手順4

金具を固定～完成。

6 上下にB金具を取り付け A金具をはめて固定する。



コツ B金具は完全に固定せずに、仮固定程度にしておきA金具をはめます。(最終的に両方を固定します。)

完成



内窓につまみ等が必要な場合は別途取り付けるか、付属の吸盤と吸盤用補助板をご使用ください。

使用上のご注意

- パネルを取り付ける前に既存窓の窓ガラス内側の曇り・結露の原因となる水分を拭き取ってから内窓を開めてください。
- ご使用開始後、窓ガラス内側の曇り・結露が改善されます。
窓ガラス内側に曇り・結露が発生した場合は上下左右の隙間が最小限かを確認し、隙間を調整してください。あまりに大きな隙間の場合は市販の隙間テープ等で調整してください。
- メンテナンス方法
プラスチック素材は静電気を帯びやすくホコリ等を吸い寄せてしまいます。
汚れ落しには中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に付けて拭いてください。
もしくは当社製品の静電防止剤「ブラスタート」がオススメです。

ご使用にあたって

警告

- 残材は燃やさないでください。廃棄する地域の自治体などの指示に従ってください。
- 小さなお子様の手の届く位置に残材や工具を置かないでください。
- ストーブや加湿器等は室内窓から1M以上離してください。
- 内窓面に強い風を当てないでください。
- 『簡易内窓』は樹脂製で柔軟性があり軽量ですので、風の影響を受けやすく、開け閉めや出入りの際に誤って窓枠からはずれ、屋外や屋内へ落下した場合、事故の危険があります。特に二階以上では屋外側へ落下することがないようにご注意ください。

注意

- 寄りかかったり物を立てかけないでください。
- 適度に換気を行ってください。
- 指つまなどに注意してください。
- 長期間直射日光に当たると2～3年で劣化することがあります。
- 直射日光や空調機器の温風等が当たる、高温となる場所でご使用頂くと製品に反り等が生じる場合があります。

※本製品について、予告なく形状や仕様などを変更する場合がありますのでご了承ください。